

事前評価個表

整理番号	20
------	----

地域（地区）名	おんががわ 遠賀川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	福岡県	対象市町村	きたきゅうしゅう 北九州市ほか 27 市町
事業実施期間	R4 年度～R8 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、福岡県の中央部から北東部に位置し、北部は響灘に面し、西部は福岡森林計画区、南部は筑後・矢部川森林計画区及び大分北部森林計画区、東部は周防灘に接している。</p> <p>本地区の森林面積は 106 千 ha（森林率 49%）、対象民有林面積は 91 千 ha（森林全体の 86%）、うち人工林面積は 52 千 ha（人工林率 57%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、木材として利用可能な区齢級以上のスギ・ヒノキ林面積が全体の 88%を占め、人工林資源は利用期を迎えている。</p> <p>特に、本地区は、遠賀川等を通じた大都市圏への水の供給源として重要な地域であるが、太陽光発電施設等の設置のための開発が多い地域でもあるため、水源涵養^{かん}などの森林の持つ公益的機能の確保等に配慮して、開発と保全の調和を図る必要がある。</p> <p>このことから、森林経営計画等に基づいた主伐を推進し、本事業による再造林、下刈り、間伐等の適時適切かつ効率的な施業に不可欠な路網整備を一体的に推進することで、森林資源の循環利用や水源涵養などの森林の持つ公益的機能の発揮を図る。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,095ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：7,924m 林道開設</p> <p>総事業費：6,142,805 千円（税抜き 5,584,369 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 3.49$</p> <p>（総便益（B）=25,759,221 千円、総費用（C）=7,378,376 千円）</p>
評価結果	<p>必要性： 森林の有する公益的機能の維持増進や効率的な施業の実施が求められる地域であり、保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て、適切な森林整備の実施する必要があることから、事業の必要性は認められる。</p> <p>効率性： 費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 本事業を活用した間伐や主伐・再造林といった適切な森林整備を実施することで、森林の有する公益的機能の維持増進や効率的な施業の実施が図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：福岡県

地域(地区)名：遠賀川おんががわ


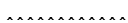
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	5,320,183	
	流域貯水便益	1,646,264	
	水質浄化便益	6,259,546	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,138,167	
環境保全便益	炭素固定便益	3,703,908	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	3,613	
	木材利用増進便益	9,499	
	木材生産確保・増進便益	2,557,745	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	2,372	
	森林整備促進便益	1,699,100	
森林の総合利用便益	ふれあい機会創出便益	122,648	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	266,660	
維持管理費縮減便益		29,516	
総 便 益 (B)		25,759,221	
総 費 用 (C)		7,378,376	
費用便益比	$B \div C = \frac{25,759,221}{7,378,376} = 3.49$		

遠賀川地域(福岡県) 事業概要図



凡例

	森林計画区界
	市町村界